

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

## Vol. 2 防霜対策特集号

### 1. 霜害にあいやすい時期です。『防霜対策』を徹底しよう！

◇ **発芽 10 日後頃（雌しべ長 2 mm 前後）** になると霜害にあいやすくなる

＜園芸農業研究所の生育状況＞

- ・ 発芽期 紅秀峰：3/27 （前年 3/23：4 日遅い、平年 3/23：4 日遅い）  
佐藤錦：3/30 （前年 3/29：1 日遅い、平年 3/28：2 日遅い）
- ・ 雌しべ長（3/31 現在）：紅秀峰：1.90mm、佐藤錦：1.41mm

※ 凍害による雌しべの枯死が発生している園地もみられます（確認方法は vol.1 参照）

#### ◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安

		
<p><b>発芽期頃</b> 芽の先端に緑が出始めた頃 (雌しべ長: 1.3 mm 前後)</p>	<p><b>発芽 10 日後頃</b> 花芽が膨らみ、はっきりと 緑が確認できる頃 (雌しべ長: 2 mm 前後)</p>	<p><b>発芽 15 日後頃</b> さらに膨らみ、花芽の半分くらい 緑(赤)になった頃 (雌しべ長: 3 mm 前後)</p>
<p>まだ被害が出にくい時期</p>	<p><b>この頃から 注意が必要</b></p>	<p><b>だんだん弱くなる</b> →</p>
		
<p><b>花芽が割れ始めた頃</b> (雌しべ長: 5 mm 前後)</p>	<p><b>開花前～開花始期</b> (雌しべ長: 6～8 mm)</p>	
<p><b>← この時期が最も霜害に弱い！！ →</b></p>		

※「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より外観、雌しべ長とも進みが早いので、特に注意！

## 2. 霜害にあいやすい条件

- ◇ ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ・雌しべの枯死がみられる園地

特に対策をしっかりと！

### 《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、  
午後10時頃の気温が5℃以下

天気予報 + 自分で確認

### 凍霜害対策「低温アラートシステム」が4月から利用できるようになりました！

- ・県内の樹園地等に50台以上の小型気象装置を設置
- ・観測地点ごとに ①現在の気温を確認できる  
②自分で設定した気温になるとメールで通知される
- ・利用は、「やまがたアグリネット」から（会員限定：登録料・会費等なし）

## 3. 適切な方法で確実な防霜対策を！

※1か月予報では、気温は高めの予報。早めの準備が必要。

### 【事前の準備】

- ◇ 気温の高い午前中にたっぷりかん水（土壌水分の確保）
- ◇ 地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く

### 【主な防霜対策】

#### （1）散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける  
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

#### （2）防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、燃焼法を併用

#### （3）燃焼法



- ・「霜キラー」や「防霜ロック」は10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前に火力が低下しないようにする